

言葉を殺すための音楽，言葉よりも早く進むための音楽

—Jean-Marie Gustave Le Clézio



Biblioteca las palmas・連続トーク企画

帰郷と亡命のはざま  
～ル・クレジオ特別編～

今福龍太（人類学者・批評家）

2009年3月15日（日） 14時 開演  
S a u d a d e B o o k s 秋谷

30名限定要予約・入場無料カンパ制  
予約・問い合わせ [saudadebooks@aol.com](mailto:saudadebooks@aol.com)  
090-6565-8494（浅野）

詳細は下記ウェブログサイトでご確認下さい。  
<http://sea.ap.teacup.com/saudadebooks/>

## ● 帰郷と亡命のはざま ～ル・クレジオ特別編～

三浦半島秋谷の丘、海山のあいだにある本のサロン「サウダージブックス」に、人類学者・批評家の今福龍太氏をお招きして、トーク・イベントをひらきます。氏と親交の深いモーリシャス系フランス人の作家、J・M・G・ル・クレジオ（1940-）の2008年ノーベル文学賞受賞をささやかに祝福する、語りの集いです。

アヴァンギャルド文学、自伝的物語、児童向けの絵本、詩、評論、アメリカ先住民神話の翻訳——幅広い文学の領域で活躍する作家、ル・クレジオのノーベル文学賞受賞講演録「逆説の森のなかで」（邦訳は「すばる」2009年3月号所収）は、すばらしく感動的なエッセイでした。一方は飽食して虚構の平和をむさぼり、他方は恒常的な飢えの現実に苦しむ。一方は歴史と情報言語を支配し、他方は永遠の忘却と沈黙を強いられる。とどまることを知らないグローバル化の波が、今日の間人文化の現実に刻みこむそんな矛盾を前にして、書くこと、読むこと、歌うことへの希望がしづかに、しかし熱く語られています。戦争中の幼年時代に耳にした祖母の物語から、アフリカと中南米の森の神話世界との邂逅へ。文学からもっとも遠く離れたところで、なお文学の可能性を真摯に問い続けたひとりの旅人の豊饒なる孤独の軌跡が、そこには記されています。

ル・クレジオは、この講演録で、アフリカやカリブ海、ラテンアメリカなど世界各地の敬愛する先人の作家の名前を呼び覚ますとともに、中米パナマのダリエン地方の密林の商店で、床にあぐらをかいて一心不乱に読書する名も知らぬ褐色の少年にこの受賞を捧げ、「本を読む子供」のヴィジョンを通じた未来の連帯への呼びかけで、語りの環を閉じています。この「呼びかけ」の声は、まぎれもない、文学の贈り物だと言えるでしょう。

いまから24年前、メキシコ中西部のタラスコ高原でインディオの神話翻訳に寡黙に取り組むル・クレジオと同じ野性のフィールドを歩きながら対話の時をかさね、ル・クレジオが2006年に39年ぶりに来日した際は、作家を短い冬の雨と風に彩られた奄美群島の聖樹を訪ねる巡礼の旅に案内した人類学者、今福龍太氏。近年は、国家＝大陸の社会原理とは異なる多島海の感性から人間の歴史的・地理的想像力を大胆に書き換えようとする、「見えない大陸」（ル・クレジオ）、「群島-世界論」（今福龍太）という双子的な世界ヴィジョンを共有する両者、ル・クレジオの講演「逆説の森のなかで」からの呼びかけに、今福龍太氏が応答します。

なお、サウダージブックスの本のサロンには、作家J・M・G・ル・クレジオのデビュー作『調書』をはじめとする日本語訳を中心とした多言語作品コレクション、および関連図書を展示しています。書店でなかなかみかけることのない貴重な本を、この機会にぜひ実際に手にとってご覧ください。（表紙写真撮影：濱田康作）

## ● 今福龍太 / Ryuta Imafuku (1955-)

人類学者・批評家・詩人。東京に生まれ、3カ月後に辻堂に転居し、敗戦後10年のいまだ茫漠たる湘南の汀で育つ。これまでメキシコの火炎樹、キューバの大王椰子、奄美群島の榕樹などの根元に移り住む魂の舳い綱をかけ、土地土地の伝承する古き弦楽器を爪弾きながら「放擲された愛」を歌い、その言語外のヴィジョンの未発の可能性について沈思してきた。近年はサンパウロや韓国ソウルの発熱する路地を徘徊し、折り重なる風景と時の襲をかきわけながら、批評家として思考し記述する手のなかに、原初と未知に共にふれる指使いを奪還することを企てる。東京外国語大学大学院教授のほか、遊動型の野外学舎「奄美自由大学」を主宰、またサンパウロ・カトリック大学記号コミュニケーション研究所の客員教授も兼任。三浦半島秋谷のサウダージブックスに蔵書の一部を移し、Biblioteca las palmas（大王椰子文庫）として広く開放している。最近の著作に『群島-世界論』、『ミニマ・グラシア 歴史と希求』（以上、岩波書店）、『ブラジルのホモ・ルーデンス』（月曜社）。2008年、20世紀最大の思想家であるフランスの人類学者クロード・レヴィ＝ストロースとの共著『サンパウロへのサウダージ』（みすず書房）を刊行。共著に『アーキペラゴ 群島としての世界へ』（吉増剛造、岩波書店）、編著に『戸井田道三の本』（全4巻、筑摩書房）などがある。近刊予定に、『身体としての書物』（東京外国語大学出版会）、『ブラジルから遠く離れて 1935-2000 クロード・レヴィ＝ストロースのかたわらで』（サウダージブックス）。

## ● サウダージブックス / Saudade Books

所在地 〒260-0105 神奈川県横須賀市秋谷 5430 URL: <http://sea.ap.teacup.com/saudadebooks/>  
「アクセス」

1. まず、JR逗子駅までお越し下さい。
2. JR逗子駅東口（海岸側）バスターミナルの2番乗り場より京急バス（「葉山行き」と急行以外ならどれでも）に乗車。約20分～30分、長者ヶ崎をすぎた海目の目の前のバス停「峯山」で下車してください。
3. 峯山バス停より50メートルほど歩道を逗子方面にもどり、右手駐車スペースの真ん中にあるコンクリートの階段をのぼり、裏山の山道に入ってください。
4. コンクリートの階段が終わり、緑の石畳の道をのぼって徒歩5分ほど、右手四軒目の古民家がサウダージブックスです。石畳の小径を通って、どうぞ内側まで入って来てください。お待ちしております。
5. 雨の日は山道がたいへん滑りやすくなります。歩きやすい靴でお越しになることをお勧めします。
6. たいへん申し訳ありませんが、駐車場のご用意はありません。公共交通機関をご利用下さい。

お席が限られておりますので、予約制とさせていただきます。お手数をおかけしますが、サウダージブックス宛にe-mail もしくは電話でご予約をお願いいたします。

予約・問い合わせ [saudadebooks@aol.com](mailto:saudadebooks@aol.com)  
090-6565-8494（浅野）

# SAUDADE BOOKS